

## 大盛況だった「DISわあるどin北海道」

### 91社が最新の機器・ソフトを披露、道内では最大級のIT総合展に

ダイワボウ情報システム（DIS）は7月25、26の両日、札幌市白石区の札幌コンベンションセンターでIT機器の総合展示会「DISわあるどin北海道」を開催しました。北海道では過去最大級のIT関連総合展となり、道内各地から集まった多くの来場者でにぎわいました。

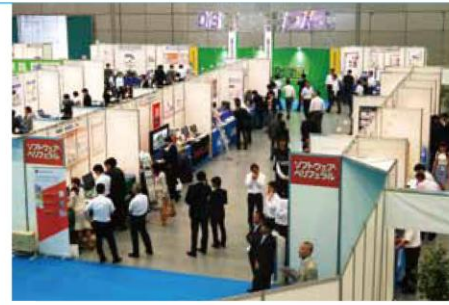
DISは毎年1～2回、全国各地の中核都市でDISわあるどを開催しています。メーカーなどの個展はあっても、国内外で流通するIT機器やソフトウェアの全体像、それも“旬”の商品などに接する機会がほとんどない地方都市での開催は、マルチベンダー、地域密着を標榜するDISならではの総合展としてIT業界でも大きな話題を呼んでいます。昨年秋の「岡山わあるど」には国内外のベンダー125社が出展し、2日間で2800人を超す来場者がありました。

“ITサポライズ”をテーマにした「北海道わあるど」は、展示面積3,300平方メートル・200小間を超える規模で、国内外のハードメーカー、ソフトウェアメーカー、通信業者など91社が最新の機器やソフト、システ

ムを披露しました。中でも注目されたのがいま話題のタブレットPCを始めとするモバイル端末で、国内で流通するほぼ全機種が顔を揃えました。またサーバ仮想化やクラウド、WiMAX、ネットワーク関連製品など実際のビジネスに役立つソリューションの展示も充実していました。

更に今後モバイルシンの中心になるであろうと予想されるUltrabookやタブレットなどの商品展示や関連セミナーで構成する「モバイル関連製品特別展示コーナー」が人を集めていました。このほか「模擬教室」などによる教育ICTソリューションの提案なども、学校の教師など多くの教育関係者の関心を呼びました。

DISわあるどは基調講演・特別講演やセミナーの充実も大きな特徴で、今回は東京大学の伊藤元重教授、ITジャーナリストの林信行氏、日本マイクロソフトの樋口泰行社長、北海道大学の丹田聡教授がそれぞれ講演し、多くの聴衆に感銘を与えました。これら以外にも2日間に渡って各種ITビジネスセミナーが多数開かれました。



### 次回は福岡県北九州市で 11月20～21日に開催

なお、次回の「DISわあるど」は11月20、21の両日、福岡県北九州市で開催されます。会場はJR小倉駅から徒歩5分の「西日本総合展示場新館」（北九州市小倉北区浅野）です。事務局となるダイワボウ情報システム北九州支店の秦博充支店長は、業種を問わず展示会等が多数開催されている福岡市とは対照的に、北九州でのこういった総合展示会開催は極めて稀だと説明。それだけに目標は大きく「DISが北九州を活性化させる」ことで、「お客様の心に響く感動を、より多くの方に伝えます」と決意を語ります。